

ヴィヴァルディ盤を聴く(3)(HP収載)  
ー最新アナログシステムでの試聴(3)ー

1. 始めに

[LINN LP-12 の再構成\(35\)](#)および[ThorensTD124 の再構成\(1\)](#)で報告しましたようにこれらのアナログシステムの大幅な変更を行い、バッハ、テレマン、ヘンデルのアナログ盤を聴き直してきました。今回もヴィヴァルディ盤を聴いてみることにしました。

2. ヴィヴァルディのアナログ盤の試聴方法

試聴システムは、LINN LP-12 の再構成(35)およびThorensTD124 の再構成(1)で報告したとおりであり、バッハのアナログ盤をレーベル毎、録音年代毎に整理して、LINN LP-12 とThorensTD124 のいずれか、または両方で聴いていきます。その後、さらにアンチスタティックの効果(1)とアンチスタティックの効果(2)で報告したようにレコードアンチスタティックも加わり、今回も、スピーカーアキュライザーの出力側のマイナス端子にCrstal EpY-Gをセットしています。また、今回もMagic Mat IIの導入(2)で報告したMagic Mat IIを使用しています。

今回は、次のヴィヴァルディ盤を聴いていきます

ANGEL EAA-85630

アントニオ・ヴィヴァルディ ヴィオラ・ダモレー協奏曲ニ長調  
ヴィオラ・ダモレー協奏曲イ短調  
ヴィオラ・ダモレー協奏曲ニ短調  
ヴィオラ・ダモレー協奏曲イ長調

ミシェル・ボン (ヴィオラ・ダモレー)

トゥルーズ室内管弦楽団

ANGEL HA 1086

アントニオ・ヴィヴァルディ 協奏曲ト長調 (マンドリン付き)  
協奏曲ハ短調  
協奏曲変ホ長調「海の嵐」  
協奏曲イ長調

ファッサーノ指揮ローマ合奏団

VANGUARD GT 1163/4

アントニオ・ヴィヴァルディ 調和の幻想全曲

マリオ・ロッジ指揮ウィーン国立歌劇場室内管弦楽団

### 3. ヴィヴァルディのアナログ盤の試聴結果

ANGEL 盤のビオラ・ダモーレ協奏曲集は、ZANDEN のリストに従い、EMI、R、第4時定数 Low で聴いてきましたが、違和感はありません。前報(1)のピヤール盤と同様、ビオラ・ダモーレの甘美な音色の演奏ですが、演奏自体はピヤール盤より歯切れのよい演奏です。

ANGEL 盤の協奏曲集は、モノラル盤で ZANDEN のリストにありませんが、同じ ANGEL 盤ということで、EMI、R、第4時定数 Low で聴いてきました。音像は中ほどに凝縮し、穏やかでしみいるような演奏です。協奏曲ト長調はマンドリン協奏曲とも称され、マンドリンの音色が魅力的ですし、協奏曲変ホ長調「海の嵐」はお馴染みの曲で躍動的です。

VANGUARD 盤の調和の幻想は、ZANDEN のリストに従い、DECCA、R、第4時定数 Mid で聴いてきます。聴きなれた6曲目、8曲目、9曲目、11曲目などを聴いていきましたが、バロックアンサンブルと違った優雅なウィーン調のヴィヴァルディです。

### 4. まとめ

LINN LP-12 の再構成(35)とアンチスタティックの効果(1)とレコードアンチスタティックやスピーカーアキュライザーの Crstal EpY-G や Magic Mat II の結果をトレースでき、レーベルのイコライザー特性が特定できました。

以上